

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション夏の企画展

千一億光年トンネル

奥村綱雄、Nerhol、水戸部七絵

2017年5月20日[土]—8月6日[日]

ごあいさつ

新しい表現は、見る人に新しい世界を切り開いてくれます。浜口陽三は、1950年代に手さぐりで銅版画の制作を開始し、独自の技法を編み出しました。それは銅の板を何ヶ月もかけて繊細に彫る手間のかかる方法でしたが、前例のない、光と闇に満ちた神秘的な画面を作り出し、20世紀後半を代表する銅版画家として国際的に活躍しました。この夏は、浜口陽三にちなみ、現在、未踏の表現を拓いて進む作家3人の作品を展示します。

奥村綱雄(おくむらつなお)は「パフォーマンスとしての刺繍」を、二十年以上続けています。あえて夜間警備の仕事に就き、勤務中の待機時間にひたすら針を動かして、小さな布に1000時間以上の作業時間をかたむけます。これは膨大な時間の結晶か、あるいは前衛演劇なのか。7200時間分の不可思議な作品「夜警の刺繍」を紹介します。

Nerhol (ネルホル) は、田中義久と飯田竜太によるアーティスト・デュオです。レイヤーを用いた洗練された手法で、時間や存在のゆらぎを含んだ形を提示します。代表作は、3分間連続撮影した肖像写真を200枚重ねて彫刻を施した作品で、人の表層と内面に切り込みました。今回はこのシリーズの新作と近年作の「roadside tree」も加え、静かな思索空間を展開します。

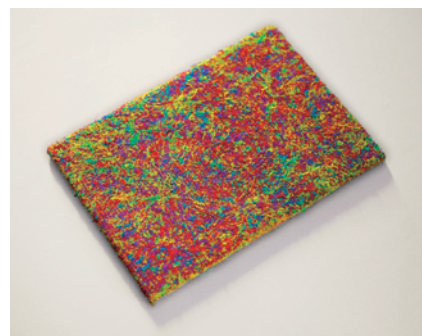
水戸部七絵(みとべななえ)は、顔をテーマに描くスケールの大きな最近注目の若手作家です。油彩絵具を時には一日100本以上を使って豪快に塗り重ね、崩れることも臆さずに匿名の顔を描きあげます。絵画として描いていますが、作品は立体さながらに盛り上がり、大胆な色彩と質感で迫ってきます。

手のひらから時空を乗り越えて別次元へと昇華した作品の数々をご覧ください。新作を含む現代作家の作品と、浜口の銅版画作品20数点の構成です。

*展覧会の顧問として、生物学者で美術にも造詣の深い、福岡伸一先生に図録の評論文を書いていただく予定です。



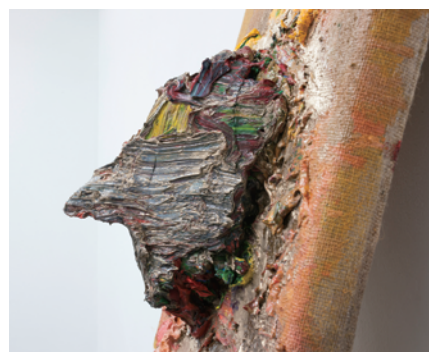
A 浜口陽三「くるみ」 1978年 メゾチント 62.0×47.3cm



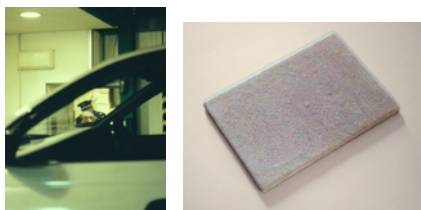
B 奥村綱雄「夜警の刺繍」 2016年 綿布に糸 24.8×17.5cm



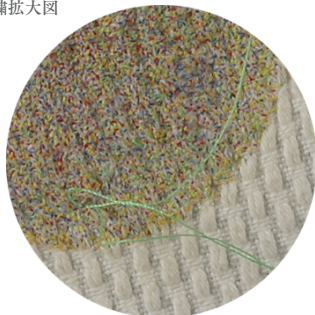
C Nerhol「multiple - roadside tree 004」 2016年



D 水戸部七絵「Face」 2014年 油彩、キャンバス
※参考作品画像 撮影：吉峯敦史



上：夜警の刺繍ポートレート（作品の一部です）
下：刺繍拡大図



おくむら つなお

奥村綱雄

1962年三重県生まれ。金沢美術工芸大学商業デザイン科卒業

個展

1992年 International Art Gallery（金沢）

1993年 ギャラリーNWハウス（早稲田）

1994・95年 ギャラリー21+葉 アネックス（銀座）

1995・2000・01・10年 藍画廊（京橋）

2016年 表参道画廊（青山）

グループ展

1990年 「MITO10月展」水戸芸術館現代美術ギャラリー（水戸）

2002・03・09・10年 表参道画廊+MUSEE F（青山）

2009年 「Stitch by Stitch 針と糸で描くわたし」/東京都庭園美術館（目黒）

2012年 「闇に縫う」小出由紀子事務所（神田）

2000～2003年 ギャラリーガイド誌「etc.」にて『日記にヤッキ』コラム連載担当

ネルホル

Nerhol

〔田中義久と飯田竜太により2007年に結成〕

田中義久：1980年静岡県生まれ。武蔵野美術大学卒業。

飯田竜太：1981年静岡県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了

個展

2015年 「Index」Foam Photography Museum（アムステルダム）

2016年 アペルト04「Promenade / プロムナード」金沢21世紀美術館（石川）

「multiple - roadside tree」Yutaka Kikutake Gallery（東京）

グループ展

2014年 Festival Images 2014（ヴヴェイ）

2015年 「Sharing Footsteps Sharing Footsteps」YOUNGEUN MUSEUM OF CONTEMPORARY ART（韓国/光州）

「SHASHIN! Japanese Photography Then/Now」Sotheby's Hong Kong Gallery（香港）

2016年 「TOUCHED - Craftsmanship in Contemporary Photography」Museum Het Schip（アムステルダム）

「めぐりアート静岡」静岡市美術館（静岡）

出版物

『Promenade multiple - roadside tree』My Book Service, Yutaka Kikutake Gallery（東京）2016年

『Phrase of Everything』IMA Photo books（東京）2014年

『Misunderstanding Focus』limArt（東京）2012年

みとべ ななえ

水戸部七絵

神奈川県生まれ。2011年名古屋造形芸術大学造形学部洋画コース修了

個展

2014年 「水戸部七絵 個展」現代HEIGHTS GALLERY DEN.ST（東京）

2016年 「新世代への視点2016 水戸部七絵」ギャラリー21+葉（自由が丘）

2016年 APMoA Project, ARCH vol.18 「DEPTH - Dynamite Pigment -」/愛知県美術館

グループ展

2014年 「砂漠のスケッチ」BlackRockCity内テント（アメリカ）

受賞歴に「熊谷守一大賞展」入賞、「千代田芸術祭2011 アンデパンダン」審査員ゲスト
OJUN賞がある。



Scene to know, 2013



「Depth」油彩、鉄製パネル 170×200cm, 2015
撮影：吉峯敦史

出品作家によるトーク

日時 - 7月9日(日) [予定]

奥村綱雄×Nerhol×水戸部七絵

聞き手：柏倉康夫(放送大学名誉教授)

15:00～16:00 トーク

16:00～17:00 お茶会とご歓談、自由鑑賞の時間

定員 - 60名

- ・参加申込は5月30日(火) 12:00より電話にて受付(先着順、開館時間のみ)
- ・当日はトーク開始1時間前より開場・受付

* そのほか、出品作家それぞれによる対談を企画・日程調整中です。

展覧会情報

会場：ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション1階、B1階

開館時間：平日11:00～17:00 / 土日祝 10:00～17:00(最終入館16:30)

入館料：大人600円 / 大学・高校生400円 / 中学生以下 無料

休館日：月曜日(7/17は開館)、7/18(火)、7/9(日)[予定]

※7/9(日)[予定]はトーク開催のためご予約の方のみの入館です。

※休館日、開館時間、出品作品、イベント内容等は都合により変更する場合があります。

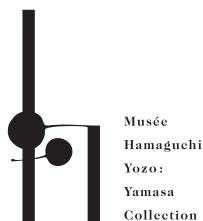
《ナイトミュージアム/会期中第1・3金曜日(6/2、6/16、7/7、7/21、8/4)は20:00まで開館、最終入館19:30》

プレスリリースご担当者様へ

展覧会をご取材いただけますよう、どうぞよろしくお願い致します。

作品画像の貸出についてはアルファベット(A～D)を

広報担当 新田までお申し付けください。



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

TEL: 03-3665-0251 FAX: 03-3665-0257

Email: musee@yamasa.com HP: <https://www.yamasa.com/musee/>

アクセス：東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば/日比谷線「人形町」徒歩8分/首都高速箱崎IC 浜町出口又は清洲橋出口